

3-4 その他

3-4-1 分子研コロキウム

分子研コロキウムは、所長はもとより、所内全ての教授、准教授、研究者が集い、各人の専門分野を越えて学問的な刺激を享受することを趣旨とし、各々の専門分野で講師をお招きして開催する部門公開セミナーとは一線を画す。今年度 965 回を数える歴史あるセミナーであるが、近年、コロキウムに参加する所員は減少する一途にあり、コロキウム本来の趣旨が所員に正しく理解されているかは疑わしい状況にあった。1988 年「総合研究大学院大学」の設立、2003 年「国立大学法人法」の制定にともない、所長、教授、准教授が、研究所・大学院の運営により多くの時間を割かざるを得なくなるなど、コロキウムが始まった 1976 年当時と現在とでは研究所を取り巻く状況が大きく異なってきた事実はあるが、コロキウム本来の趣旨に立ち返り、その存在意義を高めるべく、2010 年度からコロキウムの改革が進められている。

現行の開催要領では、(i) 各領域による講師の推薦と、(ii) ホスト（各教員）による講師の推薦に基づき、(iii) 4 月から翌年 3 月まで通年開催する、という 3 点を骨子としている。(i)(ii) は、講師の選出に複数の教員が関わることで所全体としてコロキウムへの関心を高めつつ、分子科学に関連する各研究分野のトップランナーである研究者をお招きし、最先端の話題を提供していただくことが主な狙いである。また、(iii) はコロキウムの開催が年末から年度末にかけて集中してしまうここ数年の傾向を考慮しての対策である。これらの開催方針は次年度にも引き継がれることとなった。

上記開催要領に基づき、2022 年度は計 10 件のコロキウムを開催し、8 件を対面形式で（うち 1 件はオンラインを併用したハイブリッド形式）、他 2 件をオンライン形式で行った。前年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により全てのコロキウムがオンラインで開催されるなど、対面形式でのコロキウム開催は久々であった。しかしながら、いずれの回も多くの聴講者が集まり活発な議論が行われるなど盛況で、対面形式による議論の良い面をあらためて認識した。なお、コロナ禍対策として整備されたオンライン開催のための設備・技術を活用し、より多くの聴講者に参加していただけるように、ハイブリッド形式での開催および所外への公開が検討・実施された。感染状況が一定程度に収まってきていることから次年度のコロキウムも主に対面形式で開催される予定であるが、開催形式にこれらの新しい選択肢が加わったことで、今後コロキウムが講演者と所内外の研究者を広く巻き込んだ、より活発な「ブレインストーミング」の場となることが期待される。

以下に、2022 年度に行われた分子研コロキウム一覧を示す。

回	開催日	テーマ	講演者
956	2022. 6.28	Quantum Technology at 100 Billionths of a Degree Above Absolute Zero	Prof. Dana Anderson (JILA fellow/UC Boulder)
957	2022. 7.12	金属-有機構造体 (MOF) の融解とガラス化、およびその機能	堀毛 悟史 (京都大学准教授)
958	2022. 8. 1 (オンライン)	Dynamic and Thermodynamic Performance Bounds for Collective Motor-Driven Transport	Prof. David Sivak (Simon Fraser Univ., Canada)
959	2022. 8. 2 (オンライン)	臨界現象とスケーリング：切り紙の伸長から滴の融合・分離まで	奥村 剛 (お茶の水女子大学教授)
960	2023. 1.13	エネルギー応答型精密 Ir 錯体触媒が拓くバイオマス資源と CO ₂ の還元	斎藤 進 (名古屋大学教授)
961	2023. 2.10	固体の真空状態を破壊する——固体の高次高調波発生の物理	田中耕一郎 (京都大学教授)

962	2023. 2.13	The Business of Quantum Computing: Market Dynamics, Funding and Future Prospects	Mr. Paul Lipman (ColdQuanta, Inc.)
963	2023. 3. 7 (オンライン・ オンサイト併用)	Giving Chemistry Direction	Prof. David A. Leigh (The University of Manchester, UK)
964	2023. 3.20	Organic Semiconductors—from Flexible Displays and Solar Cells to the Artificial Brain	Prof. Karl Leo (Technische Universität Dresden, Germany)
965	2023. 3.22	Does an Isolated Quantum Spin System Thermalize?	Prof. Matthias Weidemüller (Ruprecht-Karl University Heidelberg, Germany)